

出題 蜚雪ゼミナール

則武校・船橋巧



全科目を指導しています。英語の学習を通じて、全科目に通じる勉強法を紹介します！

## 問題【英語】

新課程の教科書では、さまざまな教科でSDGsという文字を見かけるようになりました。次の英文を読んで、その理由を答えてください。

SDGs, the Sustainable Development Goals, were set up in 2015 by the United Nations. There are 17 global goals in SDGs, and these goals are supposed to be achieved by 2030. Some goals are related to the environment, and others the economy. Surprisingly, there is a goal related to the education: Quality Education. The United Nations says that ESD, Education for Sustainable Development, is the key to all the SDGs. Japanese education has been based on ESD since 2020, so SDGs are appeared in some textbooks.

注：be set up 掲げられる

be supposed to ~ ~することになっている

be related to ~ ~に関係する

surprisingly 驚くべきことに

be based on ~ ~に基づく

## 豆知識 雑学コラム

## SDGsのための教育

SDGsは日本語で「持続可能な開発目標」と訳されます。2030年までに全世界で解決すべき17の目標を掲げたもので、2015年に国連によって採択されました。約10年後には解決されているべきとされている目標群ですが、これらを学生が学ぶことに何の意義があるのでしょうか。

国連の決議において、簡潔にまとめると「持続可能な開発のための教育（ESD）は、SDGsの成功への鍵である」という内容が盛り込まれています。2030年までの目標達成には、現代社会を生きる私たち全員がSDGsについて知り、身近なことから少しずつ変えていくことが必要です。一方で、目標が達成された後も、その状況が維持されるように、質の高い教育を提供し続けなければなりません。これは私なりの考えですが、学生のうちに現代社会の課題を知ること、およびその解決策を自分なりに考え、社会に出てから実行していくことが求められているのではないのでしょうか。そのために、SDGsとは何か、どんな実践例があるかを知ることが大事なのです。

なお、今回の英文では受け身の文を多用しました。「～られる」と暗記しがちな文法事項ですが、注にあるbe related toのように「～られる」とは訳さないものもあります。だからこそ、ルールをおさえましょう！受け身の文の最も重要なルールは、「受け身の文の主語は、受け身でない文では目的語」です。動詞によっては目的語にとれる語の種類が決まっているものもあり、大学入試の語法問題ではこの部分を聞かれることがあります。以前にも書きましたが、動詞は使い方も覚えましょう！

## 【解答】

2020年から、日本の教育はESDに基づいていく。